

12/13 news  
角館地区 第44回秋田県芸術文化章授章式

### 佐藤碧洲さん受章

県芸術文化協会（齊藤博会長）による第44回秋田県芸術文化章授章式が秋田ビューホテル（秋田市）で12月13日に行われ、県内7人の受章者のうち、仙北市から地域貢献・書道の佐藤碧洲（本名：佐藤貞一）さん（角館町）が受章しました。



#### 履歴・業績

長年にわたり仙北市公民大学などで書道の指導にあたり後継者育成に尽力しました。日本教育書道会秋田県連合会長として秋田県南連合会、秋田県連合会の作品展を開催しました。仙北市芸術文化協会初代会長として地域の芸術文化の発展に貢献しました。

12/20 news  
田沢湖地区 角館ライオンズクラブ

### 神代小学校にパネルなど寄贈

12月20日、角館ライオンズクラブ（大澤隆会長）から神代小学校に展示パネルやブルーレイディスクレコーダー、デジタルカメラ（総額17万円相当）が寄贈されました。

大澤会長は「ライオンズクラブは社会奉仕、地域貢献を目的に活動している。この贈り物を皆さんの勉強などに役立ててもらえるとうれしい」と全校生徒を前に話し、6年生の三浦伸太郎君が「学校での様々な活動に役立てていきたい」とお礼を述べました。



▲大澤会長（右から2人目）からパネルなどを受け取った三浦君

11/30 event  
角館地区 「12月1日のいのちの日」キャンペーン

### 心の健康と自殺予防を呼びかける

12月1日の「いのちの日」にちなみ、ワンダーモールタカヤナギ店で11月30日に街頭キャンペーンを行いました。

ふれあいサポーターやえくぼの会、市職員の計14人が参加し、パンフレットなどを配布。心の健康と自殺予防を呼びかけました。

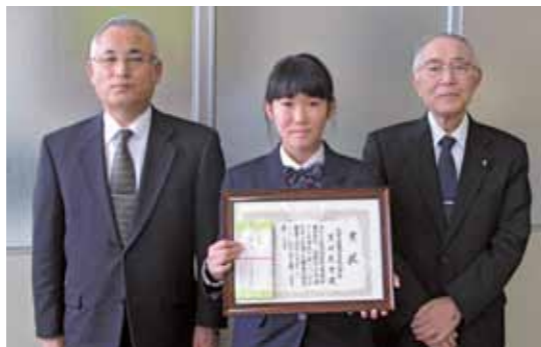


▲厚生労働省が自殺予防活動の一環として平成13年に制定した「いのちの日」

12/11 news  
仙北市 中学生の「税についての作文」

### 市内中学生が受賞

作文を通じ中学生の皆さんに税について関心を持ち、正しい理解を深めてもらおうと、国税庁と全国納税貯蓄組合連合会（納貯連）が共催で募集していた「税についての作文」で、真崎奈実さん（生保内中3年）の作品「税金に対する意識」が大曲地区租税教育推進協議会長賞を、日高大樹さん（同3年）の作品「ぼくと祖母と税金」が仙北地域納貯連会長賞を受賞しました。12月11日には関本吉明大曲税務署長と高橋達仙北地域納貯連副会長が生保内中学校を訪れ、表彰状を伝達しました。このほか、藤原実咲さん（角館中3年）、高橋杏奈さん（同2年）、猪本菜々子さん（西明寺中1年）が仙北地域納貯連会長特別賞を受賞しています。



▲（左から）関本署長、真崎さん

12/9 event  
角館地区 第29回国民文化祭・あきた2014応援事業～音楽でつながろう2012～

### みんなの校歌コンテスト

12月9日、角館交流センターで「みんなの校歌コンテスト」が開催され、10グループがそれぞれ思い入れのある校歌を熱唱しました。

このイベントは、校歌を歌っていたころの記憶を懐かしんでもらいながら、市内の学校の校歌を歌い継ぐという目的で、音楽でつながろうプロジェクト（坂本佐穂代表）が主催したもの。現在歌われている校歌のほかにも、統廃合となった小中学校の校歌も披露され、会場からは大きな拍手と声援が送られました。

また、第2部の音楽でつながろうコンサートでは、国民文化祭2014でテーマソングを担当するha-j（はーじえい）さんを始め、県内外で活躍するアーティストらが出演し、楽曲を披露しました。



▲校歌をアレンジし披露する角館中学生

12/15 event  
田沢湖地区 ロビーコンサート第2弾

### クリスマスの雰囲気堪能

市民会館でクリスマスロビーコンサートが12月15日に開かれ、約100人の観客が訪れました。

好評だった9月のロビーコンサートに続く第2弾として開催され、第1部は『クラシック・トリオ』がクラリネット、ピアノ、ソプラノの美しいハーモニーで



▲『クラシック・トリオ』と『平かずみとスイングチェリーズ』のコラボレーション。会場内もイルミネーションで飾り付けられ、クリスマスモードに包まれました。

12/18 event  
角館地区 角館南高校で防災避難訓練

### 避難所の役割を確認

12月18日、防災避難訓練が角館南高校で行われ、近隣住民も参加し避難方法や場所などを確認しました。

訓練は震度5の地震が発生した場合を想定。生徒らは積雪のために外への避難ができなかった場合を考え、このたび完成した新しい体育館に避難しました。また、集まってもらった住民の皆さんに協力してもらい、避難所の受付から案内、避難所内の仕切りの作成や小型発電機の操作体験、備蓄用非常食の調理など様々な役割を友人同士が協力しながらひとつずつ確認していました。



▲小型発電機の操作を体験する生徒たち

クラシックや賛美歌などを奏でました。続く第2部では『平かずみとスイング・チェリーズ』がヒットソングを大迫力で演奏。アンコールや両グループのコラボレーションも飛び出し、会場は最後まで楽しい雰囲気にも包まれていました。

